

SPA100シリーズ電話アダプタでのプロキシと登録

目的

インターネット電話サービスを使用するには、ATAをインターネットテレフォニーサービスプロバイダー(ITSP)に登録する必要があります。各回線は個別に設定する必要があります。また、各回線を異なるITSPに設定することもできます。この設定には、着信登録に基づく発信登録のサポートも含まれます。この機能には、送信要求とプロキシ登録更新を短い間隔で有効期限が切れるプロキシ機能も含まれます。この記事では、SPA100シリーズ電話アダプタのプロキシと登録の詳細について説明します。

該当するデバイス

- SPA122シリーズ電話アダプタ

[Software Version]

- 1.3.1

プロキシと登録の設定

注：プロキシと登録は、両方の回線に適用されます。この記事では、ATAの回線1の設定方法について説明します。回線2は、ユーザが希望する設定と同じ方法で設定することもできます。

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[Voice] > [Line1]を選択します。[Line 1]ページが開きます。

Line 1	
General	
Line Enable:	<input type="checkbox"/> yes <input checked="" type="checkbox"/> no
Streaming Audio Server (SAS)	
SAS Enable:	<input type="checkbox"/> no <input checked="" type="checkbox"/> yes
SAS Inbound RTP Sink:	<input type="text"/>
SAS DLG Refresh Intvl:	<input type="text" value="30"/>
NAT Settings	
NAT Mapping Enable:	<input type="checkbox"/> no <input checked="" type="checkbox"/> yes
NAT Keep Alive Msg:	<input type="text" value="SNOTIFY"/>
NAT Keep Alive Enable:	<input type="checkbox"/> no <input checked="" type="checkbox"/> yes
NAT Keep Alive Dest:	<input type="text" value="SPROXY"/>
Network Settings	
SIP ToS/DiffServ Value:	<input type="text" value="0x68"/>
RTP ToS/DiffServ Value:	<input type="text" value="0xb8"/>
Network Jitter Level:	<input type="text" value="very high"/>
SIP CoS Value:	<input type="text" value="3"/> [0-7]
RTP CoS Value:	<input type="text" value="6"/> [0-7]
Jitter Buffer Adjustment:	<input type="text" value="no"/>
Proxy and Registration	
Proxy:	<input type="text" value="proxy1"/>
Outbound Proxy:	<input type="text"/>
Use Outbound Proxy:	<input type="checkbox"/> yes <input checked="" type="checkbox"/> no
Register:	<input type="checkbox"/> yes <input checked="" type="checkbox"/> no
Register Expires:	<input type="text" value="3600"/>
Use DNS SRV:	<input type="checkbox"/> no <input checked="" type="checkbox"/> yes
Proxy Fallback Intvl:	<input type="text" value="3600"/>
Mailbox Subscribe URL:	<input type="text"/>
Use OB Proxy In Dialog:	<input type="checkbox"/> no <input checked="" type="checkbox"/> yes
Make Call Without Reg:	<input type="checkbox"/> no <input checked="" type="checkbox"/> yes
Ans Call Without Reg:	<input type="checkbox"/> no <input checked="" type="checkbox"/> yes
DNS SRV Auto Prefix:	<input type="text" value="no"/>
Proxy Redundancy Method:	<input type="text" value="Normal"/>
Mailbox Subscribe Expires:	<input type="text" value="2147483647"/>

ステップ2 : ページの[Proxy and Registration]セクションまでスクロールします。

Proxy and Registration	
Proxy:	<input type="text" value="proxy1"/>
Outbound Proxy:	<input type="text" value="proxy2"/>
Use Outbound Proxy:	<input type="button" value="yes"/>
Register:	<input type="button" value="yes"/>
Register Expires:	<input type="text" value="3600"/>
Use DNS SRV:	<input type="button" value="yes"/>
Proxy Fallback Intvl:	<input type="text" value="3600"/>
Mailbox Subscribe URL:	<input type="text" value="SUSER@SPROXY"/>
Use OB Proxy In Dialog:	<input type="button" value="yes"/>
Make Call Without Reg:	<input type="button" value="yes"/>
Ans Call Without Reg:	<input type="button" value="yes"/>
DNS SRV Auto Prefix:	<input type="button" value="yes"/>
Proxy Redundancy Method:	<input type="button" value="Normal"/>
Mailbox Subscribe Expires:	<input type="text" value="86400"/>

ステップ3:[Proxy]フィールドにすべてのアウトバウンド要求のプロキシサーバの名前を入力します。プロキシサーバはルートの主要な役割を果たします。これは、要求がターゲットユーザに近いエンティティに送信されることを保証するためです。

ステップ4:[Outbound Proxy]フィールドに、すべてのアウトバウンド要求がファーストホップとして送信されるプロキシサーバの名前を入力します。

ステップ5:[Use Outbound Proxy]ドロップダウンリストから[Yes]を選択して、アウトバウンドプロキシの使用を有効にします。それ以外の場合は、[No]を選択して[Outbound Proxy]を無効にし、[Dialog]パラメータで[Use OB Proxy]を使用します。

ステップ6:[Use OB Proxy In Dialog]ドロップダウンリストから[Yes]を選択し、SIP要求をアウトバウンドプロキシに送信します。それ以外の場合はNoを選択して無効にします。

注 : OBはアウトバウンドプロキシを表します。

ステップ7:[Register]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択し、プロキシパラメータを使用した定期登録を有効にします。これにより、ユーザはデバイスをプロキシパラメータで再登録する時間を節約できます。それ以外の場合は、プロキシが指定されていない場合、[いいえ]を選択します。

ステップ8:[Make Call Without Reg]ドロップダウンリストから[Yes]を選択して、プロキシユニットによるダイナミック登録なしで発信コールを発信できるようにします。それ以外の場合は、[No]を選択します。ダイヤルトーンは再生されず、ユーザは最初にデバイスを登録しないと発信コールを発信できません。

ステップ9:[Register Expires]フィールドに時間 (秒) を入力して、所定の時間が経過した後に登録が期限切れになったことを確認し、登録を更新してデバイスのセキュリティを強化します。ATAは、現在の登録が期限切れになる直前に、定期的に登録を更新します。それ以外の場合はNoを選択して無効にします。範囲 : 0 ~ 2147483647秒デフォルト設定 : 3600 .

ステップ10:[Ans Call Without Reg]ドロップダウンリストから[Yes]を選択し、ユニットによる正常 (動的) な登録を行わずに着信コールに応答できるようにします。それ以外の場合は、[No]を選択して、着信コールに応答できないようにします。

ステップ11:[Use DNS SRV]フィールドで[Yes]を選択し、プロキシおよびアウトバウンドプロキシにDNS SRVルックアップを使用します。それ以外の場合は、[No]を選択して、プロキシおよびアウトバウンドプロキシのSRVルックアップを無効にします

注 : サーバ名ごとに複数のDNSレコードを使用しても優先順位概念は許可されないため、すべてのホストが同じ優先順位であると見なされ、ATAはフェールオーバー後にフェールバックを試行しません。

ステップ12:[Proxy Fallback Interval]フィールドに値 (秒) を入力します。これにより、優先順位の低いサーバにフェールオーバーした後、ATAは指定されたプロキシフェールバック間

隔を待機してから、優先順位の高いプロキシ（または発信プロキシ）サーバを再試行します。このパラメータは、プロキシとそのプライオリティのレコード検索にのみ便利です。デフォルト設定は 3600 秒です。

ステップ13:[Proxy Redundancy Method] ドロップダウンリストから[Normal]を選択し、重みと優先度でランク付けされたプロキシを含むリストを有効にします。それ以外の場合は **Based** を選択し、ATAは最初にリストされたプロキシポートに基づいて選択を実行します。

ステップ14:[Mailbox Subscribe Expires]フィールドに値（秒）を入力します。この値は、ボイスメールメッセージ受信インジケータのサブスクリプション間隔を設定します。

ステップ15:[Mailbox Manage URL]フィールドにURLを入力して、ボイスメールサーバにアクセスします。

ステップ16：進行状況を確認するには、次のタスクを実行します。

- ・ [音声]ナビゲーションペインで[情報]をクリックします。設定した回線のページの [Line]セクションまでスクロールします。回線が登録されていることを確認します。
- ・ 外部電話を使用して、ITSPによって割り当てられた電話番号に着信コールを発信します。デフォルト設定を残し、電話が鳴り、電話をピックアップして双方向オーディオを取得できるとします。
- ・ 回線が登録されていない場合は、登録が完了するまで数秒かかる可能性があるため、ブラウザを数回更新する必要があります。また、DNSが正しく設定されていることを確認します。

ステップ17：推奨される変更を行った後に[送信]をクリックするか、[更新]をクリックしてユーザー推奨値を更新します。